

授業 科目	CC1C30	1単位	選択	演習	1学年前期	担当 教員	准教授 小野崎 美奈子
	保育内容総論						

授業の概要	① 保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容について学ぶ。
	② 保育内容の歴史の変遷とその社会的背景を学ぶ。
	③ 養護と教育が一体的に展開される保育について理解するとともに、多角的な視点から保育について学ぶ。

到達目標	学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の関連を理解する。					○		○	◎	
2. 保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。					○		◎	◎	
3. 子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育内容の歴史の変遷等をふまえて、保育の内容の基本的な考え方を子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげて理解する。				◎	◎	◎		○	○
4. 保育の多様な展開について具体的に理解する。		○	○	◎	◎				

凡例 ◎: 学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○: 学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はページV参照

	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標	復 習
1	オリエンテーション	シラバスに目を通しておく。 教科書 p2～12 を読んでおく。	・授業の進め方及び評価の方法を理解する。 ・保育所の役割及び保育所における保育の内容を理解する。	今後の学びの見通しを立てる。 本時の学習内容をまとめておく。
2	保育の全体構造と保育内容1	教科書 p14～24 を読んでおく。	・保育における「養護」にかかわる内容を理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
3	保育の全体構造と保育内容2	教科書 26～38 を読んでおく。	・保育における「教育」にかかわる内容を理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
4	保育内容の歴史の変遷	教科書 p40～52 を読んでおく。	・保育所保育指針の歴史の変遷及び保育内容を理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
5	子どもの発達の特性と保育内容	教科書 p54～66 を読んでおく。	・乳幼児期における発達特性を理解する。 ・保育の指導計画を理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
6	個と集団の発達と保育内容	教科書 p68～78 を読んでおく。	・保育所における子の育ちと集団の育ちをどのようにとらえ、展開するのか理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
7	保育における観察と記録	教科書 p80～90 を読んでおく。	・保育における「記録」を理解する。 ・保育における「観察」を理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
8	養護と教育が一体的に展開する保育	教科書 p92～102 を読んでおく。	・養護と教育を一体的に展開することの意義を理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
9	環境を通して行う保育	教科書 p104～114 を読んでおく。	・保育における「環境」を理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
10	遊びによる総合的な保育	教科書 p116～126 を読んでおく。	・乳幼児期における遊びの必要性を理解する。	本時の学習内容をまとめておく。

1 1	生活や発達の一貫性に考慮した保育	教科書 p128～138 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育課程について理解する。</li> <li>・保護者との協働を理解する。</li> <li>・生活や発達の一貫性に考慮した保育とその課題について理解する。</li> </ul>	本時の学習内容をまとめておく。
1 2	家庭、地域、小学校等との連携をふまえた保育	教科書 p140～152 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、地域、小学校等との連携について理解する。</li> <li>・保育所における子育て支援を理解する。</li> </ul>	本時の学習内容をまとめておく。
1 3	乳児保育および長時間の保育	教科書 p154～166 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児としての日課・乳児保育の内容と方法、配慮事項及び課題を理解する。</li> <li>・長時間保育の現状と課題を理解する。</li> </ul>	本時の学習内容をまとめておく。
1 4	特別な支援を必要とする子どもの保育	教科書 p168～178 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいとは何か理解する。</li> <li>・特別な支援を必要とする子どもの行動の観察と記録について理解する。</li> </ul>	本時の学習内容をまとめておく。
1 5	多文化共生の保育	教科書 p180～190 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生の保育とは何か理解する。</li> <li>・外国につながるのある子どもの言葉の育ちと就学準備について理解する。</li> </ul>	本時の学習内容をまとめておく。 学びの成果と課題を把握する。
成績 評価	講義への取り組み（態度、レポート等の提出物）（40％） 期末試験（60％） 合計100％			
教員 からの コ メ ン ト	この授業では、保育内容について様々な視点から学んでいきます。小学校教育へ円滑に接続するためには、子どもたちはどのような経験を積み重ねていくことが大切なのか、グループで議論したり、発表したり、自らの経験と照らし合わせながら学んでいきましょう。			
教科 書	書名 新・基本保育シリーズ14 保育内容総論 著者 石川昭義・松川恵子編 発行所 中央法規	推薦 図書	必要に応じて随時紹介します。	